

中田かわら版 9月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田地区経営委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所

制作：中田かわら版制作編集委員会

横浜市踊場地域ケアプラザ

■ かまくら道を眺めて 55 年

私は「萩丸の櫻」、 下村



① 苗木の私（左端）

こんにちは!! 私は萩丸交差点脇で 55 年間、かまくら道を眺めていた櫻の木です。名を「吉野さくら」と申します。県道阿久和鎌倉道路改良工事のために令和元年 5 月にととう伐採となりました。（写真④）ここはかまくら道。東に行けば中田町中下入り口へ、西へ向かえば藤沢湘南台。北方向の立場には市営地下鉄駅、大型商業施設ヨーカドーがあり交通の要衝です。大型バスがすれ違うには道路が狭くなってしまった。私が苗木だった 1964 年頃、交差点を挟んでチャッカリさん（理髪店）と萬屋さん（酒店）が示し合わせて 2 本の櫻の苗木を植えたそうです。当時の写真がありました。（写真

①）萬屋さんの櫻は何年も前に居なくなりましたので私一人頑張っていました。通りがかりの人たちが満開の私を見て褒めてくれたり、幹に触れたりしてくれました。（写真②③）初代チャッカリさんは菅野昇さん。私が植えられる 2 年前に開店しました。今は 2 代目菅野幸夫さん、久里ママとひかるお嬢さん。思い出深いのは御霊神社の祭礼です。4 年に 1 度ですが大きな山車を鋭角に曲がっていくのがこの萩丸交差点です。勇壮な神輿は荒々しくも上手に曲がって行きます。重い山車は急カーブさせるには



②いけてる頃の私 I

③いけてる頃の私 II

多くの大人たちの力仕事となります。見ている私も思わず根っこに力が入りました。

この度の道路改良工事によって交差点は大きく広がります。すでに電柱は移設されました。年明けには右折車線もできて混雑も解消されるでしょう。この道は深谷通信所（隊）跡地に向かいます。かまくら道は存置される計画であり、4ヶ所に環状交差点（ラウンドアバウト）が検討されています。外周道路ゾーン（幅員 50m、延長 3Km）とマッチさせる為とか。かまくら道は変貌するかもしれません。少ない予算（400 億

円）で市民の安全、防災、健康、緑の保全など盛り沢山の計画ですが、私吉野さくらとしては歴史・景観・環境への配慮を強く願いたいものです。地域住民には事前説明を怠りなくして頂きたく重ねてお願いいたします。なればさくらの命尽きるとも安心して煙となって天へ上ります。

（編集委員 松本 正）



④伐採されたトホホの私（作業途中）

参考：深谷通信所跡地利用基本計画（横浜市政策局 基地対策課）

県道阿久和鎌倉「萩丸交差点」道路改良事業 施工平面図（泉土木事務所）

～一人ひとりが CO₂ を減らす努力をし、美しい地球を子どもたちに残そう！～

10月のイベント

このチラシの情報をより詳しく知りたい方は、踊場地域ケ
アプラザ 葛西（かさい）まで問い合わせください。

TEL 801-2114 FAX 801-2923

【中田連合・大運動会】

日程：10月13日(日)

雨天時は中止

8:30 開会式 9:00 競技開始

場所：中田小学校グラウンド

内容：大縄跳びやリレー、玉入れなどたくさんの競技を行います。みなさん、自分の自治会町内会を応援しましょう。



【東中田小ふれあいDoing】

日程：10月26日(土)

13:45～ 雨天決行

場所：東中田小グラウンド

軽スポーツ、スライム作りなど。

【葛野コミュニティハウス文化祭】

日程：10月5日(土)

10月6日(日)

場所：葛野コミュニティハウス

作品展示、喫茶コーナー、演技発表

お車での来場はご遠慮下さい



Vブイメイト（汲沢中）の皆さんありがとう

■ きれいになった村岡川(宇田川)

村岡川（宇田川）の清掃活動が地元山百合自治会（勝野 紘会長）と生徒たちによる「きれいな村岡川」を合言葉に7月25日に行われた。この日、生徒40人と先生、自治会有志、総勢70人が参加した。学校が夏休みに入ると間もなく行われる恒例行事だ。

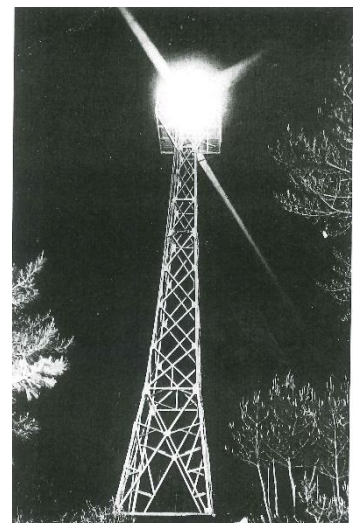
かばた橋から睦月橋までの5つの橋をまたがるおよそ400mの距離。川底のごみ、川の両壁の雑草の刈り込など見違えるほどきれいに。集めたごみは泉区土木事務所の2トントラックに積まれていく。10時から始めた作業は11時過ぎには完了。「楽しかったです、来年もまた来ます」。生徒たちの元気な声に地元の人たちも感謝していた。

■ 泉区に灯台があった(富士塚)

地元中田の70代の男性も、戦時中に見た夕方になるとクルクル回りながら明るく光る鉄塔のような物がなんであるのか最近まで分からなかった。方角は和泉郵便局の先に行った富士塚のあったところ。子供のころ「灯台、灯台」と呼んでいたという。

この灯台については戸塚区、泉区に関する本や「歴史の会」の会報などに紹介されていた。正確には戸塚航空灯台と分かった。昭和8年、上飯田郡馬原の富士塚の山頂に建設された。東京・大阪間に夜間飛行が開設されるのを受け、時の逓信省が山を買収して造ったものだった。太平洋戦争も日本の敗色濃厚となり、敵機の攻撃目標になると、終戦の前年昭和19年に取り壊された。建立した当時は夕方になり点灯すると、その明かりで畑仕事ができたと喜ばれた話もあった。今はその面影もないが神奈中バス停留所の「富士塚」の名前で名残をとどめている。

(宮田貞夫)



「中田白百合地域情報サイト」にて地域の最新の情報や、かわら版バックナンバーなどを調べることができます。www.odoriba-cp.jpへアクセス！！